

四季だより

冬号 2024年1月 (第93号)

病院理念 私たちは地域の皆様の健康と暮らしを支えるために力を尽くします



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては益々御健勝のことと御慶び申し上げます。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法の分類が2類から5類に移行となり、マスク着用規制の緩和など、ガチガチに規制されていた社会生活はようやく規制前の状態に戻りつつあります。しかし依然としてコロナ感染症は終息せず、さらにインフルエンザが猛威をふるいつつあります。また今後はノロウイルスの流行時期がやってきます。当院はコロナワクチンの集団接種を行っておりますので地域の皆様には是非、御活用いただけます幸いです。



ところで、気になる報告があります。“新型コロナウイルス感染症での受診控えて、がんの診断9.2%減少、死亡率の増加を懸念”（医療サイト朝日新聞アピタル 2021.11.4）です。持病悪化や疾病の発見遅延が問題になっています。今年は積極的に健康診断を受けましょう！是非とも当院をご活用いただき、健康寿命延伸を達成しましょう！

世界に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵攻は3年目に突入する勢いですし、さらに中東でもくすぶっていた戦いが再開されました。本原稿執筆時点 R5年12月中旬の情報では北朝鮮がロケットを発射したとのニュースが飛び込んできました。むしろ昨年よりも紛争地域が増えてしまっています。



混沌の中、広島のスポートはがんばっています。我々がカープのリーグ2位という成績。惜しくもCSは勝ち上がれませんでした。新井監督の下、今年こそ優勝目指してがんばれカープ！そしてサンフレッチェも3位、新しいスタジアムがもうすぐ完成です。野球にサッカー今年も期待できますね。



病院長 後藤 俊彦



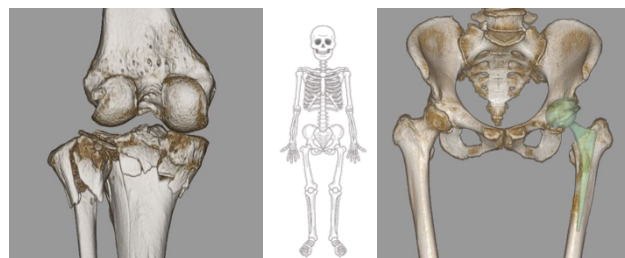
新しくCT装置が更新されました

昨年10月、新しいCT装置が導入され稼働を開始しました。米国GE社製の新製品 Revolution Maxima です。更新により3つの点で大きく変わりました。

1つ目は、最大の特徴として旧装置に比べ、高精細画像を圧倒的に高速なスピードで撮影できる点です。旧装置で胸部から骨盤まで撮影するのに約30秒かかっていたものが約1/3の時間で撮影可能(息を止める時間が短くなります)になりました。高速での撮影が可能となったことで、高齢者の方にも負担なく検査を受けていただけます。



2つ目は、高速撮影でも高画質な画像を得る技術が搭載され、さらに体内の金属の影響を低減する技術も搭載されている点です。体内の小さな病変でも描出可能となり、また整形外科で人工関節手術を受けられた方でも問題なく検査が可能です。



3つ目は、被ばく低減技術により放射線被ばく線量を従来に比べ大幅に低減することが可能になった点です。医療被ばくが問題視される昨今ですが、最低限の被ばく量で検査をしています。

地域の皆様の健康維持に貢献できると思いますので、是非、お気軽に医師へご相談ください。

放射線科 診療放射線技師 守本 京平

医療安全部会

医療安全部会の紹介をします。医療安全部会では、病院内の医療の安全を守るために多職種で横断的に協力し合い、情報を共有しながら日々活動しています。部会のメンバーの中には医師を始めとし、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士、管理栄養士、事務職員が在籍しています。

「医療安全」とは医療事故や医療過誤を防ぎ、訴訟などの人的トラブルを起こさないための対策と、トラブルが起きた場合の対応策に取組み、安全な医療サービスの提供ができる状態のことです。そのためには小さなことの積み重ねが非常に大切となります。

その一環として毎年11月19日から11月25日まで全国的に行われている医療安全推進週間の取組みに当院も参加しています。昨年度の内容は患者誤認防止を目標に患者様確認の徹底と指さし呼称、6Rでした。これからも患者様間違いを防止するためお名前確認を積極的に行っていきたいと考えています。今後も病院スタッフからお名前や生年月日を尋ねられましたらご協力をよろしくお願いいたします。



『小さな気づきで大きな事故を防ぐ』を職員一人ひとりが心掛け、患者様が安心して当院の医療を受けられるように取り組んでいきます。

医療安全管理者 3階病棟 看護師長 吉川 恵美子



「新型タバコなら大丈夫!!」は誤解です



新型タバコには大きく分けて「加熱式タバコ」と「電子タバコ」があります。紙巻タバコのように煙ではなく、どちらも霧状のペーパー（蒸気）を取込むのが大きな特徴です。

禁煙を始める第一歩として、周りの方への配慮のためなどの理由で加熱式タバコ（アイコス・グロー・プルームテックなど）を使用されている方もいるかもしれません。加熱式タバコは、有害物質の量は紙巻タバコより少ないと言われていますが、発生する蒸気には、ニコチンなど多くの種類の有害物質が含まれています。依存症薬物であるニコチンが含まれているため紙巻タバコ同様、禁煙が難しくなるのです。ニコチン依存症は、麻薬と同じくらいやめるのが難しく、治療を必要とする病気です。従って加熱式タバコに切り替えても禁煙したことにはなりません。



2020 年度から、加熱式タバコ使用者も健康保険による禁煙治療の対象となりました。

禁煙のために「新型タバコ」と頭をよぎったなら、もうひとつ先の禁煙に進んでみませんか。

禁煙は、自分ひとりではなかなか達成できません。そこで、当院内科の禁煙外来を活用してみませんか？禁煙をお考えの方、お気軽にご相談ください。



＜禁煙外来＞

完全予約制：毎週木・金曜日 14 時から（初回は 1 時間程度かかります）

お問い合わせ内科外来 13 時以降

*保険適応には条件があります

禁煙外来担当（内科外来） 看護師 磯部 泰恵・寄能 佳代子

屋外で運動して骨粗鬆症を予防

骨粗鬆症の予防にはカルシウムの摂取だけでなくビタミンD（VitD）が必要と言われています。現代の日本人の多くは慢性的に不足していると言われています。厚生労働省の発表では、成人 1 日の VitD の摂取目安量として、最低 5.5 μ g、上限 50 μ g を推奨しています。

VitD 欠乏は世界的に問題となっており、北欧では日光浴不足による VitD の欠乏を補うためにサプリメントの摂取が積極的に行われています。日本でも最近では、乳幼児・妊婦・若年女性・高齢者等を中心に VitD 不足が指摘されてきております。

VitD の必要量の大部分は日光紫外線照射による体内での生成に依存していると考えられていますが、紫外線は有害であるとの考え方が浸透したのも、VitD 不足の一因と考えられます。特に女性においては、美容上の観点から、日光を避けるという傾向にあると思われます。



VitD には、骨の生育に必須な血中のカルシウム濃度を高める作用のほかに、免疫作用の向上やさまざまな病気の予防効果があることが判っています。VitD が不足すると、骨へのカルシウム沈着障害が発生し、くる病、骨軟化症、骨粗鬆症などの病気が引き起こされるほか、高血圧、結核、癌、歯周病、多発性硬化症、冬季うつ病、抹消動脈疾患、自己免疫疾患などへの罹患率が上昇する可能性があります。

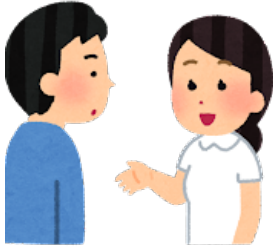
VitD は、魚やキノコなどの食物に比較的多く含まれているほか、太陽の紫外線を浴びることで皮膚の中で生成することもできるので屋外での活動も重要です。

リハビリテーション科 理学療法士 金井 淳

入院時支援について

地域医療連携・入退院支援室では、病気になり入院しても住み慣れた地域で継続して生活できるよう入院前から退院後の療養を見据えた支援を行っています。

業務内容は、①地域医療連携業務、②退院支援業務、③医療相談業務の3つがあります。今回は、退院支援業務の一部分の「入院時支援」についてお話します。



入院時支援では、最初入院を予定している患者様に入院前に看護師が面談を行い病気・治療への思いや入院前の生活などについてお伺いします。

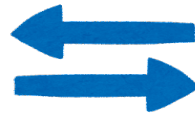
そして、入院中に行われる治療の説明、入院生活に関するオリエンテーション、入院前の服薬状況の確認、褥瘡、栄養スクリーニング等を行い、患者様が入院生活や入院中にどのような治療を行うのかのイメージを持っていただき、安心して入院生活を送ることができるよう支援します。

また、入院前の生活状況や利用されている介護サービス等についてお話し、ケアマネージャーや地域包括支援センターと連携しながら退院後に安心してスムーズに地域に戻れるように支援しています。



必要に応じて、ソーシャルワーカーや薬剤師、管理栄養士の協力の下、支援を行います。入院病棟とも連携しておりますので、入院してからの心配事や不安なことがあれば遠慮なく地域医療連携・入退院支援室のスタッフへご相談ください。

地域医療連携・入退院支援室 看護師 田淵 敏江



編集後記



新年あけましておめでとうございます。

今年は辰年です。

辰は、「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表しているそうです。

人では、「勢いが盛んになる。」「気力が充実する。」など、何だか希望と勇気が湧いてきて、活気あふれる年になりそうな気がしますね。



当院では、地域の皆様が健康で活力ある生活を送って頂けることを願い、健康寿命の延伸に向けた医療公開講座を開催しています。

病気予防や健康維持の方法を学んで頂くとともに、当院創作の楽しく足腰を鍛えられる「転倒予防体操」を地域の皆様と一緒にしながら普及に努めています。

今年も地域の皆様に安心と安全な医療を提供できるように努めてまいりたいと考えておりますので、体調不良等ありましたら早めにご相談いただくと幸甚に存じます。

副院長（兼）看護部長 胡 美恵

